

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
伊万里市	山代地区(久原集落)	令和4年2月25日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	29.0ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕地面積の合計	29.0ha
③地区内における70歳以上の農業者の耕地面積の合計	8.6ha
i うち後継者未定の農業者の耕地面積の合計	6.5ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0ha
④地区内において、今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0ha
(備考) 久原地区内は、高田・原・堀田・上揚・下場・波瀬の複数の生産組織(組合)があり、今回計画は、それぞれの組織を包括した久原地区全体の計画書である。	

2 対象地区の課題

○農業生産活動等の継続が困難な農地が発生した場合は、新たな農地の受け手の確保が必要である。 ○中心経営体(認定農業者等)では、これ以上の農地の集約を図ることができないため、集落内または集落外からの担い手の確保を図る取組みが必要である。 ○耕作条件の悪さや米価の低下、鳥獣被害の深刻化など様々な理由により、耕作意欲が低下している。
--

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

【集落内外で担い手を育成・確保】 現在、中心経営体が2名いるが、地区内の耕作条件の悪い農地の新たな引き受け意向が確認できないため、これ以上の農地集約は図れない。そのため、集落内で円滑な世代交代を図ることで、担い手を確保し、耕作を継続していく。 もし、担い手が不足する場合は、集落内の農家や外部からの担い手の受け入れを検討することで対応していく。

■集落における中心経営体

属性	農業者	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
	中心経営体数 2	水稲、麦、 キウイ他	5.7ha	水稲、麦、 キウイ他	5.7ha	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

【農地の貸付意向】

アンケート結果等により農地の貸付意向が示された農地は29筆、19,199㎡である。

【新たな農業参加者の募集】

今後、耕作者の減少や高齢化は明らかであり、草刈りや水路・農道整備に非農家の協力を得られるようにする。

協定農家以外で戦力となる人材をリストアップし、中山間直接支払交付金の事業活動において、必要に応じた参加を要請する。

【鳥獣被害防止対策の実施】

近年、イノシシ等の被害が増加しているため、既設の防護柵の定期点検や新たな被害発生場所を特定し、新規設置等の検討を行う。

【耕作条件が不利な農地の林地化】

耕作が困難な農地については、近隣農地や団地形成を考慮したうえで、林地化を検討する。